

今後の利用促進策の検討について

1. 利用促進策の検討の前に

運行状況

- ・ 各便の1ヶ月の平均利用者数は、第1便と最終便で目標値15人を達成できていない。
- ・ 利用者数が多い平日であっても、最終便は目標値15人を達成できていない。
- ・ 休日（土曜日・日曜日・祝日）は目標値15人を達成できていない便が多い。

アンケート集計結果

- ・ 平日は通院目的の利用が多い。
- ・ 休日は買い物など、自由行動の目的が多い。
- ・ 高齢者や主婦層の利用が多い。
- ・ 子供や学生など若者の利用が少ない。
- ・ 子供は保護者に連れられて利用することが多いと考えられ、ルートや行き先を知らないが、利用したことがある、という利用者もいる。

バス乗降（OD）調査結果

- ・ 平日の第1便の利用は通勤利用の方が多い。
- ・ 乗継割引利用者がかなり少ない。 第1回OD調査：全利用者数に対し 2.6%
第2回OD調査：全利用者数に対し 0.86%

市民意見・要望など

- ・ オレンジゆずるバスのオリジナルグッズを作って欲しいという要望も出ている。

2 . 今後の利用促進策の検討

- 阪急バスから得られる毎日の乗降者数のデータや、バス乗降（OD）調査により得られた利用者数から、少ない便などにスポットをあてた促進策を検討する。
- 市民、バス利用者アンケート結果から、バスの乗降そのものや、またサービスなどに対する情報提供が不足している部分にスポットをあてた促進策を検討する。

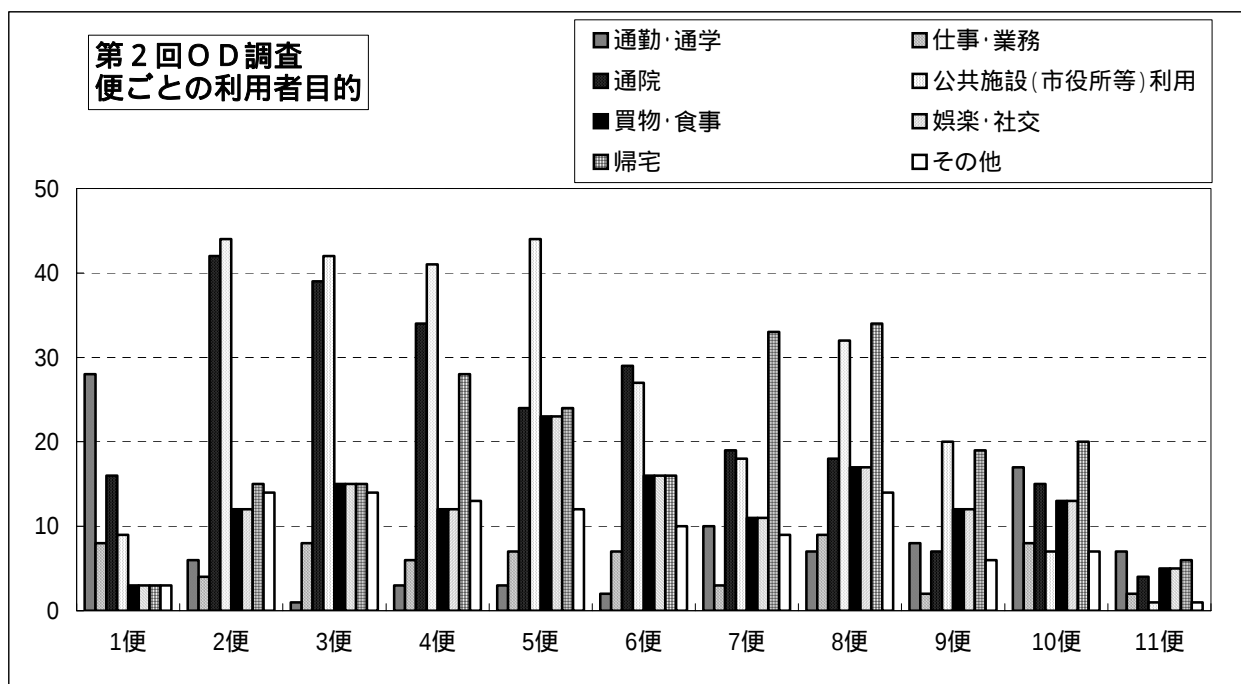
検討対象	現在の状況	利用促進への具体案のためのデータ	具体案
（平日） 第1便	- 各便の1ヶ月の平均利用者数は、黄ルートを除いた4ルートの第1便において見直し基準値を達成できていない。 - 平日は、緑ルート以外は目標値を達成できているが、他の便とくらべて利用者が少ない。 （資料1 運行計画について「ルート別バス1便あたりの利用者数」参照）	- 現在の1便の利用者は若い世代の通勤・通学目的が多くなっており、高齢者の通院目的は少ない。（31 ページ「平日各便の利用目的」参照） - 市立病院に到着する時間が早すぎるという自由意見も少数であるがでており、受付後診療開始までの時間を有意義にできるような案などの必要性が考えられる（参考資料2 市民意見と要望について 参照）	例） <u>市立病院待合所・みのおライフプラザにおける早朝イベント等</u> （事業所やNPO 他各種団体等との連携）
（平日） かやの中央への利用	かやの中央バス停は休日の利用者は多いが、平日の利用者は少ない。 （33 ページ「平日・休日のかやの中央への乗降者数割合」参照）	現時点で自由目的の主婦層の利用があるため、更なる利用促進を考える。（参考資料1 各種調査結果について「市民アンケート調査」「バス利用者アンケート調査」参照）	例） <u>レディースデイトアップ</u> （商業施設との連携）
（休日） 午前中の便	日曜日・祝日の午前中の利用者数は、かなり少なくなる。 （資料1 運行計画について「ルート別バス1便あたりの利用者数」参照）	休日の利用目的は買い物が多いが、1便は商業施設の開店時間より早いため、利用者が少なくなっている。 （32 ページ「休日各便の利用目的」参照）	例） <u>早起きは三文の得企画</u> （NPO 他各種団体や商業施設等との連携）
（休日） 緑・桃・赤ルート	- 日曜日・祝日の利用者数は、平日の6割程度になっており、青、黄ルートを除いて、各便の見直し基準値を達成できていないものが多い。 （資料1 運行計画について「ルート別バス1便あたりの利用者数」参照） - 特に、桃ルートは平日の利用者が比較的多いルートであるが、休日に利用者は激減する。 （33 ページ「平日・休日の利用者数の全平均との割合」参照）	- 駐車料金のサービスとなる時間よりも長い時間をすごしたい場合に有効。 - 休日はどの世代も買い物目的の利用が高くなっている。（参考資料1 各種調査結果について「バス利用者アンケート調査」参照） - 平日に利用が不可能である30～40代男性の利用促進を考える。	例） <u>商業施設と連携するイベント等</u>

検討対象	現在の状況	利用促進への具体案のためのデータ	具体案
(全日) 最終便 (第10便 第11便)	・各便の1ヶ月の平均利用者数は、全ルートの最終便において見直し基準値を達成できていない。 (資料1 運行計画について「ルート別バス1便あたりの利用者数」参照)	・夕方以降の主婦層は、家事などのため外出をしないと考えられる。高齢者などに絞って利用促進を図る。	例) <u>ほろ酔いバスツアー等</u>(NPO 他各種団体や商業施設等との連携)
乗継割引	・OD調査当日の乗継割引利用者は、第1回目は1024人中27人(2.6%)、第2回目925人中8人(0.86%)とかなり少ない。 (参考資料1 各種調査結果について「バス乗降(OD)調査」参照)	・乗継割引の利用経験がある方は15%程度であるが、必要だと感じている方は70%を越えている。 (参考資料1 各種調査結果について「バス利用者アンケート調査」参照)	例) <u>1日乗車券の導入</u>
PRについて	・バス車両そのものの存在や、バス停の位置は市民の7割程度が認知しているが、ルートや行き先に関しては5割に届くかどうかである。 ・性別や年代によって認知率は上下している。 6～9歳の子供、10、20代の若者、また65～69歳の男性の認知率が低い。 (資料4 評価指標と目標達成度について「認知率」参照)	・10代未満は、利用しているのにも関わらず、ルートや行き先を知らない方がおり、両親に連れられて乗車している方が多いと考えられる。 (参考資料1 各種調査結果について「市民アンケート調査」参照) ・オレンジゆずるバスのグッズなどの要望も出ている。(資料3 市民意見と要望について 参照)	例) <u>オレンジゆずるバスに乗って箕面市内を巡る体験学習</u>(学校との連携)

3．利用促進策のためのデータ

1) 平日各便の利用目的

	人数							
	通勤・通学	仕事・業務	通院	公共施設(市役所等)利用	買物・食事	娯楽・社交	帰宅	その他
1 便	28	8	16	9	3	3	3	3
2 便	6	4	42	44	12	12	15	14
3 便	1	8	39	42	15	15	15	14
4 便	3	6	34	41	12	12	28	13
5 便	3	7	24	44	23	23	24	12
6 便	2	7	29	27	16	16	16	10
7 便	10	3	19	18	11	11	33	9
8 便	7	9	18	32	17	17	34	14
9 便	8	2	7	20	12	12	19	6
10 便	17	8	15	7	13	13	20	7
11 便	7	2	4	1	5	5	6	1

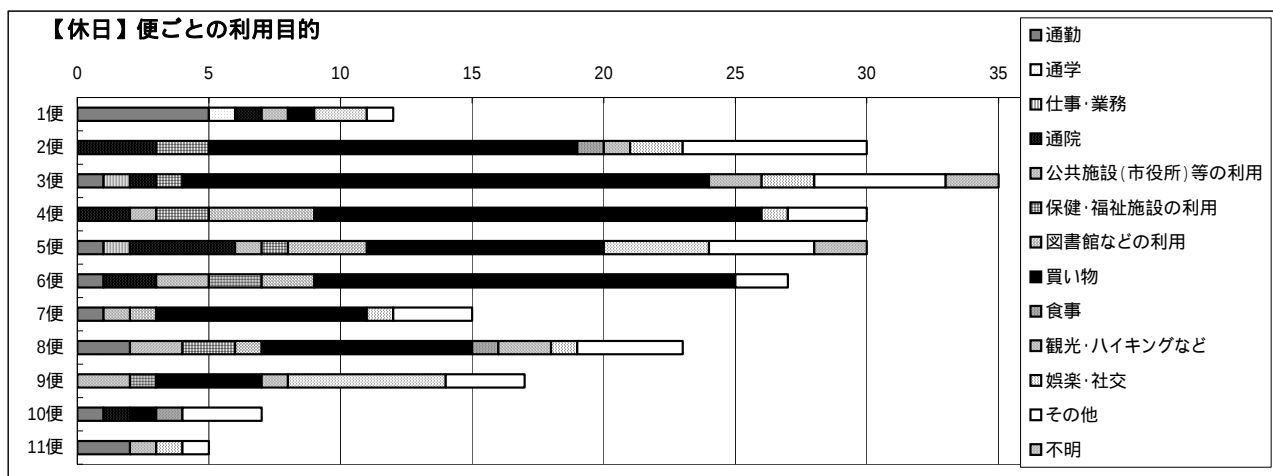


1 便の利用目的は通勤が多くなっており、通院が少なくなっている。2 便以降の通院目的が多いことを考慮すると、1 便の通院目的の利用者を増やすべき。

第2回のOD調査は利用目的の複数回答が多かったため、全てを集計しており、合計数は回答者数と一致しない。

2) 休日各便の利用目的 (利用者アンケート調査における集計であるため、全数ではない)

	人数												
	通勤	通学	仕事・業務	通院	公共施設(市役所)等の利用	保健・福祉施設の利用	図書館などの利用	買い物	食事	観光・ハイキングなど	娯楽・社交	その他	不明
1便	5	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0
2便	0	0	0	3	0	2	0	14	1	1	2	7	0
3便	1	0	1	1	0	1	0	20	0	2	2	5	2
4便	0	0	0	2	1	2	4	17	0	0	1	3	0
5便	1	0	1	4	1	1	3	9	0	0	4	4	2
6便	1	0	0	2	2	2	2	16	0	0	0	2	0
7便	1	0	0	0	1	0	1	8	0	0	1	3	0
8便	2	0	0	0	2	2	1	8	1	2	1	4	0
9便	0	0	0	0	2	1	0	4	0	1	6	3	0
10便	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	0
11便	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0



休日の第1便は平日多く見られる通勤利用者が減るため利用者が少ない。

休日は、主に買い物目的の利用者が多いが、第1便は商業施設の開店時間の都合上、利用者が少なくなっている。

3) 平日・休日のかやの中央への乗降者数割合

			平日	土曜日	日曜日・祝日
緑ルート	乗降者数	かやの中央	15.2	20.5	20.4
		全バス停	245	212	167
	割合		6.2%	9.7%	12.2%
桃ルート	乗降者数	かやの中央	18.0	23.5	21.9
		全バス停	247	212	149
	割合		7.3%	11.1%	14.7%
赤ルート	乗降者数	かやの中央	9.6	13.0	10.7
		全バス停	223	216	162
	割合		4.3%	6.0%	6.6%
青ルート	乗降者数	かやの中央	27.8	35.3	30.7
		全バス停	377	341	252
	割合		7.4%	10.4%	12.2%
黄ルート	乗降者数	かやの中央	13.9	21.7	19.2
		全バス停	265	263	217
	割合		5.2%	8.3%	8.9%

休日のかやの中央への利用は多いが、平日は少ない。

4) 平日・休日の利用者数の全平均との割合

	緑ルート (西部北循環)		桃ルート (西部南循環)		赤ルート (中部循環)		青ルート (東部北循環)		黄ルート (東部南循環)		合計	
	平均利用者数	全平均との比	平均利用者数	全平均との比	平均利用者数	全平均との比	平均利用者数	全平均との比	平均利用者数	全平均との比	平均利用者数	全平均との比
平日	186	109%	199	113%	146	107%	283	110%	182	105%	996	109%
土曜日	158	93%	162	92%	135	99%	247	96%	179	103%	881	96%
日曜日・祝日	125	74%	113	64%	99	73%	180	70%	144	83%	661	72%
全平均	170	-	176	-	136	-	257	-	174	-	913	-

平日や、全平均利用者数では 5 ルート中 2 である桃ルートだが、日曜日・祝日は 5 ルート中 4 位となる。